

参加者募集
No.21-17シンポジウム

モータースポーツ技術と文化
-頂点へのチャレンジ!速さを支える最新技術!!-

問合せ先：シンポジウム事務局 Tel. 045-453-2225

【URL】 <http://www.jsae.or.jp/sympo/2017/scdl.php> E-mail: sympo@jsae.or.jp

- 日時** 2018年3月7日(水)
- 会場** 東京工業大学 大岡山キャンパス 大岡山西9号館 2階
(目黒区大岡山 2-12-1)
- 協賛(予定)** (一社)日本機械学会, (一社)日本自動車タイヤ協会
(一社)日本自動車連盟
- 企画** モータースポーツ部門委員会
- 定員** 250名

- 参加費** (消費税込・テキスト1冊込)
正会員 16,200円 学生会員 3,240円
賛助会員 22,680円 一般の方 32,400円
協賛学協会の会員 22,680円

- 参加申込方法**
シンポジウムページ【URL】 <http://www.jsae.or.jp/sympo/2017/scdl.php> よりお申込みください。
(請求書払いまたはクレジットカード決済より選択可)

参加のおすすめ

本年度も、2輪、4輪のモータースポーツにおける車両/エンジン/タイヤ等の開発手法を中心とした最新技術をご紹介をさせていただきます。2輪においては、スズカ8時間耐久レース3連覇を果たしたヤマハ発動機からその軌跡を、またモトGPに復帰して3年を迎えるスズキからも、復帰からの進化と課題をご紹介させていただきます。

4輪においては、INDY500レース”日本人初優勝”という快挙を成し遂げた佐藤琢磨さんからのビデオメッセージをはじめ、INDY用ホンダエンジンのご紹介、またGT3カテゴリー用に開発されたLEXUS RC Fのご紹介をさせていただきます。その他、タイヤの空力や、電子制御技術、3Dプリンタによる物作り等、モータースポーツを支える技術を幅広くご紹介させていただきますので、モータースポーツに興味をお持ちの皆様参加を心よりお待ちしております。



モータースポーツ部門委員会 委員長 飯倉 雅彦氏

プログラム

- 10:00 開会挨拶 モータースポーツ部門委員会委員長 / ヤマハ発動機(株) 飯倉 雅彦氏
司会 横浜ゴム(株) 秋山 一郎氏
- 10:05 ヤマハ発動機 鈴鹿8時間耐久レース3連覇の軌跡 ヤマハ発動機(株) 辻 幸一氏
- 10:50 MotoGPマシンGSX-RR開発-復帰後3年の進化と課題- スズキ(株) 佐原 伸一氏
- 11:35 昼食・交流会
司会 ニッサン・モータースポーツ・インターナショナル(株) 石川 裕造氏
- 12:25 (英語) Honda's IndyCar Challenging Spirit Honda Performance Development, Inc. Mr. Stephen Eriksen 氏
- 13:10 【ビデオメッセージ】INDY500勝利までの道とさらなる挑戦 佐藤 琢磨氏
- 13:30 タイヤ空力技術開発とレーシングタイヤへの応用 横浜ゴム(株) 児玉 勇司氏
- 14:15 休憩・交流会
司会 東海大学 森山 裕幸氏
- 14:45 LEXUS RC F GT3の開発 トヨタテクノクラフト(株) 永嶋 勉氏
- 15:30 (英語) The very beginning of engine management system in Motorsport: Focused on 1980's
(黎明期におけるモータースポーツ用エンジン制御システムの発展と変遷)
..... BOSCH engineering GmbH Eberhard Haberkern 氏
- 16:15 3Dプリンティング技術のレース活用と量産車展開の課題..... Toyota Motorsport GmbH 田中 悠人氏
- 17:00 閉会挨拶 マツダ(株) 山本 修弘氏

◆プログラムは講師、会場の都合などにより予告なく変更となる場合があります。

自動車技術会 シンポジウム

モータースポーツ技術と文化

頂点へのチャレンジ! 速さを支える最新技術!!

Challenge for the Top! Ultimate speed is supported by latest technologies.

日時

2018年3月7日(水)

午前10時~午後5時05分

会場

東京工業大学

デジタル多目的ホール

メディアホール

(目黒区大岡山2-12-1)

講演一覧

≡ ヤマハ発動機

鈴鹿8時間耐久レース3連覇の軌跡

辻 幸一 ヤマハ発動機株式会社



[ビデオメッセージ]

≡ INDY500

勝利までの道とさらなる挑戦

佐藤琢磨



≡ MotoGPマシンGSX-RR開発

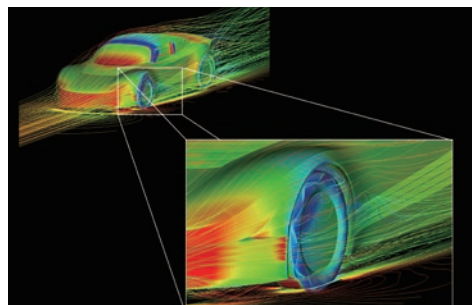
復帰後3年の進化と課題

佐原伸一 スズキ株式会社



≡ タイヤ空力技術開発とレーシングタイヤへの応用

児玉勇司 横浜ゴム株式会社



≡ Honda's IndyCar Challenging Spirit

Mr.Stephen Eriksen Honda Performance Development, Inc.



≡ LEXUS RC F GT3の開発

永嶋 勉 トヨタテクノクラフト



≡ 黎明期におけるモータースポーツ用エンジン制御システムの発展と変遷

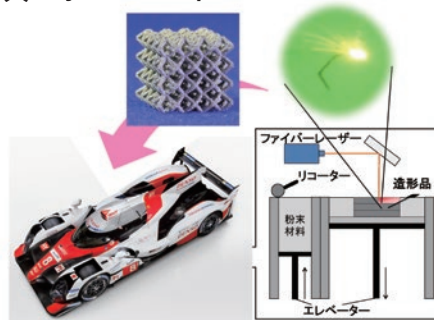
The very beginning of engine management system in Motorsport: Focused on 1980's

Eberhard Haberkern BOSCH engineering GmbH



≡ 3Dプリンティング技術のレース活用と量産車展開の課題

田中 悠人 Toyota Motorsport GmbH



公益社団法人自動車技術会

■協賛:(一社)日本機械学会/(一社)日本自動車タイヤ協会/(一社)日本自動車連盟
■企画:モータースポーツ部門委員会
■問合せ先:シンポジウム事務局 ☎045-453-2225

※参加申込、参加費等詳細は公式ホームページをご覧ください ▶▶▶ <http://www.jsae.or.jp/sympo/2017/scdl.php> 2017年度のシンポジウム、No.21-17